

# 会 議 録

(文責：齋藤)

会議の名称	那珂川市社会教育委員 第5回会議		
開催日時	令和5年3月6日(月) 19:00~20:30	開催場所	那珂川市中央公民館 講堂
出席者	【委員】 山崎委員長、柴田副委員長、池田委員、坂井委員、 明星委員、西委員、谷川委員、落合委員 【事務局】 小金丸係長、齋藤社会教育担当指導主事 【講師】 河野主任社会教育主事、吉川社会教育主事		
配布資料	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 次第</li><li>・ 第2回社会教育委員勉強会レジメ</li><li>・ 第1回社会教育委員勉強会振り返りシート</li><li>・ 社会教育委員研修会計画書(案)</li><li>・ 福岡県地域学び応援講師団講師一覧</li><li>・ ふくおか社会教育ネットワーク</li><li>・ 令和5年度那珂川市社会教育委員会議年間活動計画</li><li>・ 社教連会報</li><li>・ 社教情報</li><li>・ 福岡ブロック社会教育研究大会報告書及びDVD</li><li>・ 社会教育委員の手引き</li></ul>		
	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 委員長挨拶 委員長よりあいさつをいただいた。</li><li>2. 報告 委員長から2月21日(火)に実施された、筑紫地区社会教育委員連絡協議会第3回会議の内容について報告いただいた。</li><li>3. 研修 第2回社会教育委員勉強会 グループ協議：「那珂川市の社会教育における課題とは」 講師：福岡教育事務所 社会教育室 社会教育主任主事 河野 和道先生 社会教育主事 吉川 しのぶ先生</li></ol>		

(1) 前回グループワークの振り返り

前回の研修会と同様に、2グループに分かれ、前回のグループワークの内容の振り返り（「那珂川市のいいところ」「那珂川市の社会教育で気になるところ」「那珂川市の社会教育の課題」について、グループで振り返り、まとめた。

<グループ1>

各団体が集まった独特な形態をとっているのが、それぞれの活動内容を報告し合った。

婦人会：故郷や郷土の文化の継承（那珂川音頭等）

日赤ボランティアデーでの取り組み予定

P T A：単Pでの研修

片縄小におけるおやじの会の活動

読書ボランティア：昔話の掘り起こしと伝承

公連協：各団体の活動をつなげ、共有していきながら活動していきたい。

<グループ2>

活動の視点で「よさ」をまとめた

①対象者をイメージしているよさ

②対象者が喜んでいるよさ

③活動している自分たちが喜んでいるよさ

課題：行動が制限されている

横のつながりがない

全体として情報の共有が必要。

そのための方法を工夫する必要がある。

例) 活動の見える化の工夫

成果の報告

組織として活動していくための予算化

(2) グループ協議「那珂川市の社会教育における課題とは？」

<グループ1>

- ・委員としての役割を明確化する必要がある
- ・自分の個別の団体としての場の設定
- ・各団体の見える化が必要。市民が知る場がない。
- ・成果や活動報告を見える化することで人材発掘ができる。

<グループ2>

- ・行事など具体的な交流が必要。
- ・他への発信ができれば興味を持ってもらえる。

<指導助言：キーワード>

- ・市民一人ひとりが人間として尊重される
- ・あらゆる差別や偏見をなくす
- ・地域社会全体で子育て
- ・自ら学び考え、判断し行動する力を育てる教育
- ・安心安全な教育環境づくり
- ・全ての市民が自分らしく、地域活動に関わる

「地域活動を通じて」

市民の人や地域との絆を深めるとともにまちづくりを担う人づくりにつなげていく。

「ギャップアプローチ」

現状 ⇒ 本来あるべき姿へ（不具合のない状況）

「ポジティブアプローチ」

現状 ⇒ 未来の実現、可能性へ（つくりあげたい状況）

4. 議題

○令和5年度社会教育委員研修計画について

- ・事務局提案で承認

5. その他

- ・次回会議は令和5年6月26日（月）

内容は、令和6年度筑紫地区社会教育委員研修会について

